

業務部速報



No. 11

発行 25. 7. 4

JR東労組 業務部

申1号

第44回定期大会発言等に基づく申し入れを行う！

大会では、全代議員から組織再編と新たな人事賃金制度に対する発言をはじめ、新幹線の列車分離や車両故障、除雪対応では十分な教育・訓練を受けない中での作業の現実、繰り返し発生している組合員差別と捉えられるような事象などの発言がありました。施策に対する不安や現在の経営姿勢に対する不満や怒りの発言が多く、強い危機感をもちざるを得ません。

JR東労組は、会社発足以降、あらゆる労使協議の場において「責任追及から原因究明へ」の安全哲学のもと原因究明にこだわり、発生主義ではなく予防安全の観点で対策を求めてきました。新幹線の列車分離が半年間に二度発生する中、十分な原因究明が行われず運転再開させたことは経営の課題と言わざるを得ません。また、組合員・社員のみならず、グループ会社・パートナー会社社員の教育が十分に行われていない中で、汽笛吹鳴を受けあわや触車する事象や待避遅延など命を脅かす事象が繰り返し発生し、事故・事象の連鎖は止まりません。よって、安全哲学に基づき事故・事象と向き合い、あらゆる手法を用いて原因究明し、予防安全の観点も踏まえた対策を講じていくことが求められています。

また、「融合と連携」が加速する中、兼務や相互運用など複数の担務を担うのにも関わらず、要員不足を背景として、十分な教育・訓練が行われていない現実や、除雪に使用する用具類が十分でない中での除雪作業など不安を抱えながら業務を行っています。

さらに、社友会会員に対してのみ昇職試験対策の問題を配布するという掲示があり、社友会に所属していない社員が問題の配布を希望しても「社友会会員のみ」と断られたことに対して「問題ない」といった社友会会員である管理者の言動やJR東労組組合員が主幹職に昇格されないなどの現実、社員間差別していると言わざるを得ません。

職場で発生しているあらゆる問題・課題に対して、根本的な解決に向けて議論し、安全第一、現場第一の健全なJR東日本グループを構築するため、申1号第44回定期大会発言等に基づく申し入れを行いました。

1. 新幹線の事故・事象および命を脅かす事故・事象が繰り返し発生している現実に対する会社の認識を明らかにすること。また、発生主義ではなく、予防安全の観点で対策すること。
2. 一部職場で発生している社員間差別を是正し、風通しの良い、働きやすい職場を構築すること。
3. 「融合と連携」が深度化し、組合員・社員が担う業務が増加している職場現実であることから、安全で安心して業務を行えるようにするため、教育・訓練は確実に実施すること。
4. 雪害時における鉄道敷地内での除雪作業等を指示する場合については、事前に十分な教育を行うこと。また、除雪作業等に使用する作業着や防寒着等の用具・備品を整備すること。
5. 過半数代表者選挙において、投票の秘密の厳守と投票者の不安を解消するため、Formsやメール・電話等の投票ではなく、本人の直接無記名投票を原則とし、公平・公正に実施すること。

職場の声から安全で安心して働ける職場を実現しよう！